

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名	一般国道491号 俵山・豊田道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県下関市豊田町八道 至：山口県長門市俵山小原	延長	13.9 km		
事業概要 一般国道491号は、山口県下関市から山口県長門市までを結ぶ延長約50kmの主要幹線道路である。 俵山・豊田道路は、山口県下関市豊田町八道と長門市俵山小原を結び山陰自動車道の一部を構成する延長13.9kmの道路である。 事業目的は、要防災対策箇所、異常気象時通行規制区間を回避し、緊急時の代替路線の確保や、観光・救急医療活動の支援、生活圈域間の連携促進である。					
H28年度事業化	—	H30年度用地着手	R1年度工事着手		
全体事業費	約630億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	8%	供用済延長	0.0 km
計画交通量	8,300~8,900 台/日				
費用対効果分析結果	B/C : (3便益) (事業全体) 1.1 (1.2) (残事業) 1.6 (1.3)	総費用 : (残事業)/(事業全体) 1,326/1,900億円 (事業費 : 1,178/1,753億円 維持管理費 : 147/147億円)	総便益 : (残事業)/(事業全体) 2,106/2,106億円 (走行時間短縮便益 : 1,703/1,703億円 走行費用減少便益 : 325/325億円 交通事故減少便益 : 78/78億円)	基準年 令和2年	
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.0~1.3 (交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C=1.4~1.8 (交通量±10%) 事業費 : B/C=1.0~1.2 (事業費±10%) 事業費 : B/C=1.5~1.7 (事業費±10%) 事業期間 : B/C=1.0~1.2 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=1.5~1.7 (事業期間±20%)					
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待される ②物流効率化の支援 ・長門市水産品の主要出荷先である下関市・九州方面への流通の利便性向上が見込まれる ③国土・地域ネットワークの構築 ・高規格幹線道路「山陰自動車道」に並行する自動車専用道路の一部として位置づけられている ・新たに拠点都市間（長門市～下関市）を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる（長門市俵山地区～長門市中心部） ④個性ある地域の形成 ・山口県南部から湯本温泉(R1観光入込客数:52.9万人/年)・俵山温泉(R1観光入込客数:17.8万人/年)等へのアクセス向上が期待される ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・長門市から三次救急医療機関(関門医療センター(下関市))へのアクセス向上が期待される ⑥災害への備え ・災害により孤立化する集落を解消する(長門市俵山地区) ・第一次緊急輸送道路である(主)下関長門線の代替路線を形成する ・現道区間の要防災対策箇所(41箇所)による通行規制等が解消される ・現道区間である(主)下関長門線の事前通行規制区間(俵山大石～俵山大羽山)を回避できる ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される ⑧生活環境の改善・保全 ・NOX排出量削減が期待される ・SPM排出量削減が期待される					

⑨他のプロジェクトとの関係

- ・長門・俵山道路（R1.9.8開通）と一体となって山陰自動車道を形成する
- ・やまぐち維新プラン（H30.10 山口県）における重点的な施策の推進のうち「強みを伸ばす産業基盤の整備」「広域的な交通インフラの整備」として位置付けられている
- ・第2次長門市総合計画（H29.3 長門市）で「広域・生活道路網の充実」として位置付けられている
- ・第2次下関市総合計画後期基本計画（R2.4 下関市）で「広域交通連絡網の整備」として位置付けられている

関係する地方公共団体等の意見

山口県知事の意見：

一般国道491号俵山・豊田道路の「対応方針（原案）」案である「継続」に対して、異存なし。
引き続き、コスト縮減等を考慮の上、早期完成に向けて、より一層の事業促進に努めていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

- ・事業者からの各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次の通り意見の取りまとめを行った。
- ・審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・H29.12 俵山・豊田道路の豊田IC(仮称)に接続する国道435号美祢豊田バイパスが全線開通。
- ・H30.4 長門市に道の駅「センザキッチン」が県内24箇所目の道の駅としてグランドオープン。
- ・H30.4 元乃隅神社の駐車場拡張と観光交流施設オープン。
- ・R1.9 E9山陰道 長門・俵山道路が開通。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和2年3月末時点で、事業全体の進捗率は8%、用地の進捗率は20%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

早期開通を目指し、現在は用地買収および工事を推進している。

施設の構造や工法の変更等

技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

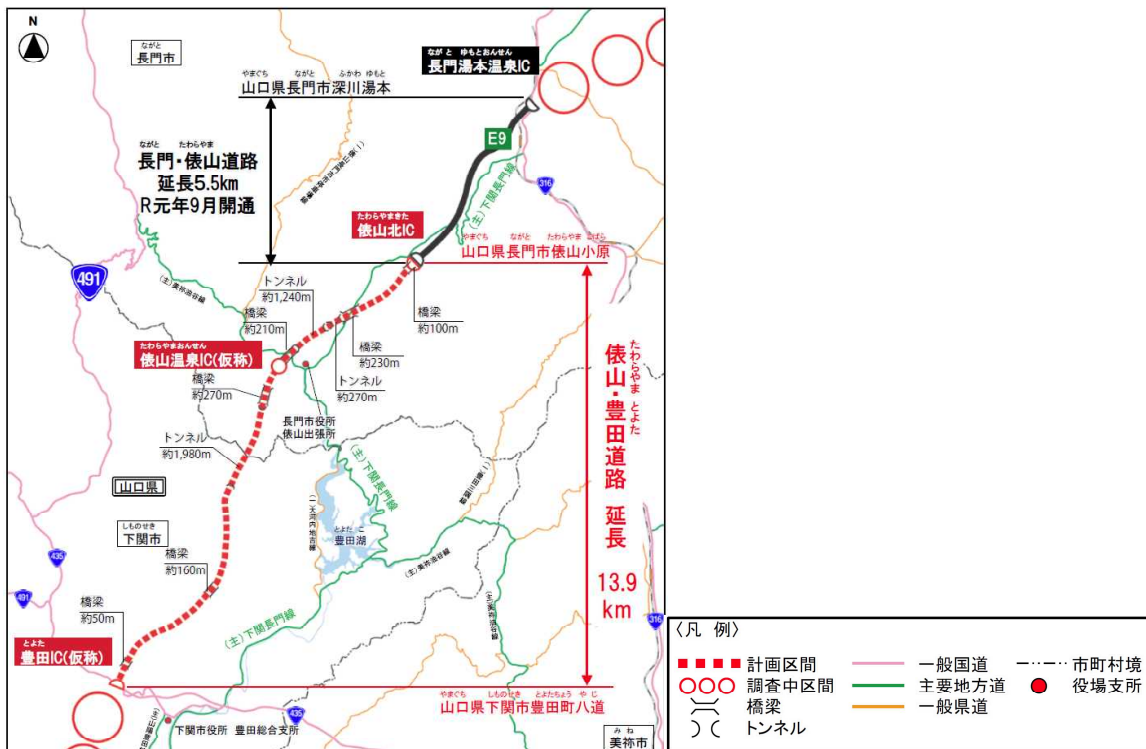
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。